



# 第72期 報告書

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

# 営業の概況

国土の安全と安心を実現する専門技術者集団として、新たな価値を創り出し、信頼される会社を目指します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は昭和18年の創業以来、特殊技術の開発、導入を積極的に進め、専門土木分野において、国土の防災やインフラ整備を通じ、社会に大きく貢献してまいりました。

永年蓄積した豊富な経験と確かな技術のもと、社会に貢献していくことを変わることのない使命と深く認識するとともに、将来価値は、常に新たな挑戦の中からしか生まれないと捉え、新しい事業領域への挑戦、新技術の開発等を通じ、人々の安心できる災害に強い国土の形成に尽力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年6月



代表取締役社長 鈴木 和夫

## 営業の概況

### 当期の概要

当社グループの当連結会計年度の売上高は、東日本大震災の復興需要が一巡したことに伴い、東北地方に拠点を置く連結子会社の売上高が減少したものの、当社を中心に専門土木分野の受注高が増加し、施工も順調に推移したことにより、1,028億2千5百万円（前期比2.7%増）となりました。

利益面では、売上高が増加したことに加え、採算性も向上したことにより、売上総利益は194億2千7百万円（前期比4.5%増）となりました。また、営業利益、経常利益につきましては、売上総利益が増加したことにより、各々97億2百万円（前期比8.4%増）、101億2千4百万円（前期比9.9%増）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、65億1千2百万円（前期比0.5%減）となりました。

### 対処すべき課題

当社を取り巻く事業環境は、政府建設投資・民間建設投資ともに引き続き良好な市場環境が続くものと予想されます。

こうした状況のなか、当社グループでは、安全衛生管理と品質管理の徹底、専門土木事業分野における総合力の強化、建築事業分野での成長、海外事業分野での成長、技術開発力の強化、経営・財務基盤の強化を図り、当社グループ全体で事業量を確保するとともに、収益力の向上を図ってまいります。

## 第72期 財務ハイライト

●売上高	1,028億2千5百万円	（前期比 2.7%増）
●営業利益	97億2百万円	（前期比 8.4%増）
●経常利益	101億2千4百万円	（前期比 9.9%増）
●親会社株主に帰属する当期純利益	65億1千2百万円	（前期比 0.5%減）
●1株当たり当期純利益	124円35銭	
●総資産	967億4千5百万円	
●純資産	627億4千7百万円	
●自己資本比率	64.9%	

# 工種別受注状況



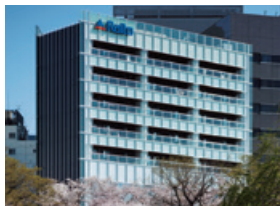
## 斜面・法面对策工事

平成30年7月豪雨等における災害復旧工事が増加したことに加え、鉄道関連の軌道盛土耐震対策工事の受注が増加したことにより、378億1千1百万円（前期比15.1%増）となりました。



## 基礎・地盤改良工事

空港及び港湾分野の液状化対策工事の受注が増加したことに加え、米国連結子会社の受注が増加したことにより、375億5千万円（前期比15.7%増）となりました。



## 建築工事

東北地方に拠点を置く連結子会社において大型建築工事の受注が減少したことにより、148億5千9百万円（前期比6.8%減）となりました。



## 補修・補強工事

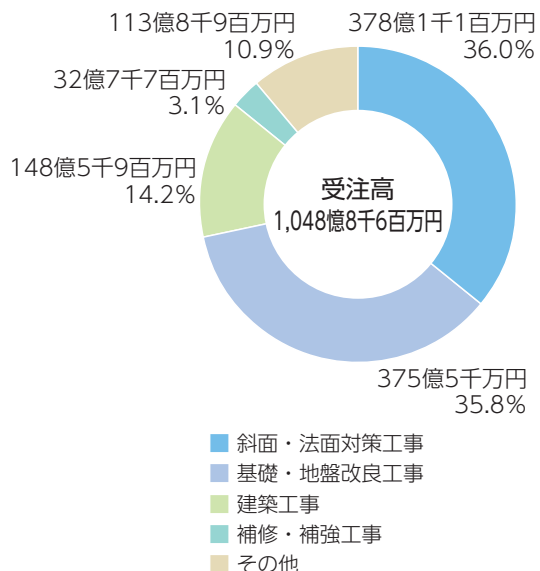
官公庁発注の橋梁補修補強工事の受注が減少したことにより、32億7千7百万円（前期比9.2%減）となりました。



## その他

民間発注の土壌・地下水汚染対策工事の受注が減少したことにより、113億8千9百万円（前期比10.7%減）となりました。

## 工種別受注構成比



# 財務諸表

## 連結

### 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期末	前期末
	2019.3.31現在	2018.3.31現在
<b>■資産の部</b>		
流動資産	69,614	65,902
固定資産	27,131	27,862
有形固定資産	18,470	19,027
無形固定資産	244	183
投資その他の資産	8,416	8,651
資産合計	96,745	93,765
<b>■負債の部</b>		
流動負債	33,046	33,879
固定負債	950	1,100
負債合計	33,997	34,980
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	62,694	58,401
その他の包括利益累計額	53	383
純資産合計	62,747	58,785
負債・純資産合計	96,745	93,765

### ポイント①

#### 連結貸借対照表

資産につきましては、現金預金及び受取手形・完成工事未収入金等の増加があったことにより、前期比29億8千万円増加いたしました。

純資産につきましては、株主配当や自己株式の取得があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことにより、前期比39億6千2百万円増加いたしました。

### 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期累計	前期累計
	2018.4.1~2019.3.31	2017.4.1~2018.3.31
売上高	102,825	100,125
売上原価	83,397	81,526
売上総利益	19,427	18,598
販売費及び一般管理費	9,725	9,647
営業利益	9,702	8,950
営業外収益	672	489
営業外費用	250	231
経常利益	10,124	9,209
特別利益	31	29
特別損失	547	160
税金等調整前当期純利益	9,608	9,078
法人税等	3,096	2,532
当期純利益	6,512	6,546
親会社株主に帰属する当期純利益	6,512	6,546

### ポイント②

#### 連結損益計算書

売上高は、当社を中心に專業土木分野の受注高が増加し、施工も順調に推移したことにより、前期比2.7%増の増収となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、採算性も向上したことで売上総利益が増加したことにより、営業利益・経常利益で増益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等の増加により減益となりました。

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期累計	前期累計
	2018.4.1~2019.3.31	2017.4.1~2018.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,560	7,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,127	△5,903
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,969	△1,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	△91
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	521	△61
現金及び現金同等物の期首残高	20,677	20,739
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	793	—
現金及び現金同等物の期末残高	21,992	20,677

### 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期累計	前期累計
	2018.4.1~2019.3.31	2017.4.1~2018.3.31
当期純利益	6,512	6,546
その他の包括利益	△186	452
その他有価証券評価差額金	△293	171
為替換算調整勘定	83	△118
退職給付に係る調整額	23	398
親会社株主に係る包括利益	6,326	6,998

## 個別

### 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期末	前期末
	2019.3.31現在	2018.3.31現在
<b>■資産の部</b>		
流動資産	55,337	53,294
固定資産	28,063	28,125
有形固定資産	16,940	17,380
無形固定資産	229	171
投資その他の資産	10,893	10,573
<b>資産合計</b>	<b>83,401</b>	<b>81,420</b>
<b>■負債の部</b>		
流動負債	27,797	28,476
固定負債	855	908
<b>負債合計</b>	<b>28,652</b>	<b>29,385</b>
<b>■純資産の部</b>		
株主資本	55,325	52,174
評価・換算差額等	△577	△139
<b>純資産合計</b>	<b>54,748</b>	<b>52,035</b>
負債・純資産合計	83,401	81,420

### 損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当期累計	前期累計
	2018.4.1~2019.3.31	2017.4.1~2018.3.31
売上高	87,400	84,180
売上原価	70,153	67,593
売上総利益	17,247	16,586
販売費及び一般管理費	8,545	8,621
営業利益	8,701	7,965
営業外収益	629	455
営業外費用	218	207
経常利益	9,111	8,213
特別利益	31	12
特別損失	547	256
税引前当期純利益	8,596	7,970
法人税及び住民税等	2,906	2,277
法人税等調整額	△160	△135
当期純利益	5,850	5,829

# 会社概要 (2019年3月31日現在)

## 会社の概況

商号	ライト工業株式会社
創業年月日	1943年7月1日
設立年月日	1948年9月28日
事業内容	法面保護工事、地すべり対策工事、基礎・地盤改良工事、補修・補強工事、環境修復工事等の土木工事業、建築工事業及びその他（建設機械のリース、建設資材の販売、介護サービス等）の事業
資本金	6,119,475,000円
従業員数	880名
支社	関東・西日本
統括支店	北海道・東北・関東・中部・中国・九州
連結子会社	13社

## 取締役及び監査役

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	鈴木 和夫	
専務取締役	船山 重明	経営管理本部長
専務取締役	藤澤 伸行	施工技術本部長
常務取締役	宝輪 洋一	安全品質環境本部長
常務取締役	西 誠浩	経営企画本部長
常務取締役	阿久津 和祐	技術営業本部長
取締役	村井 公平	関東支社長
取締役	川村 明伸	東北統括支店長
取締役	山本 忠真	建築事業本部長
社外取締役	柴田 真	税理士
社外取締役	白井 真	弁護士 株式会社マネースクエアHD 社外取締役
監査役(常勤)	木下 博之	
社外監査役	宮城 信吉	
社外監査役	前波 吉伸	大星ビル管理株式会社 代表取締役副社長

## ネットワーク

### 北海道エリア

北海道統括支店

### 東北エリア

東北統括支店  
福島事業所  
(株)みちのくリアライズ  
(株)東北リアライズ  
(株)小野良組  
(株)福島リアライズ

### 北関東・信越エリア

関東統括支店  
(株)新潟リアライズ

### 関東エリア

本社  
関東支社  
(株)アウラ・シーイー  
(株)やさしい手らいと

### 東海・北陸エリア

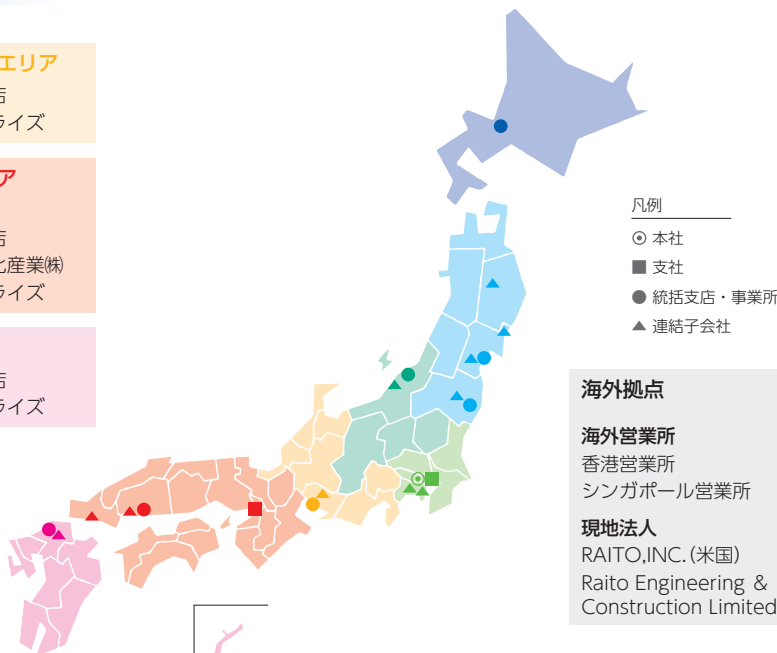
中部統括支店  
(株)東海リアライズ

### 西日本エリア

西日本支社  
中国統括支店  
サンヨー緑化産業(株)  
(株)山口リアライズ

### 九州エリア

九州統括支店  
(株)九州リアライズ



# 株式の状況 (2019年3月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	198,000,000 株
発行済株式の総数	51,963,422 株
	(自己株式 5,841,028株を除く)
株主数	7,125名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数 千株	持株比率 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,960	13.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,488	10.56
太陽生命保険株式会社	2,734	5.26
株式会社三井住友銀行	2,629	5.06
日本生命保険相互会社	2,039	3.92
GOVERNMENT OF NORWAY	1,651	3.17
株式会社北陸銀行	1,601	3.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,091	2.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	844	1.62
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	832	1.60

(注) 1. 当社は自己株式5,841千株を所有しておりますが、上記の大株主から除いております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

3. 自己株式には、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)が保有する当社株式82千株(取締役に対する業績連動型株式報酬信託分)は含めておりません。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日

期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日

※中間配当金制度は採用しておりません。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

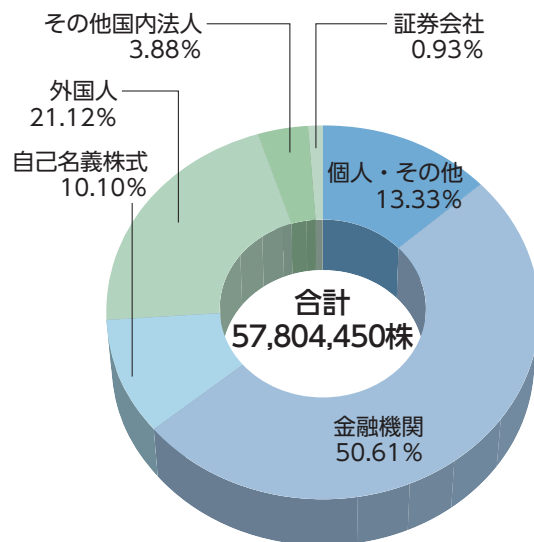
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各地支店で行っております。

## 所有者別株式数分布状況



## 株式のお取り扱いについて

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

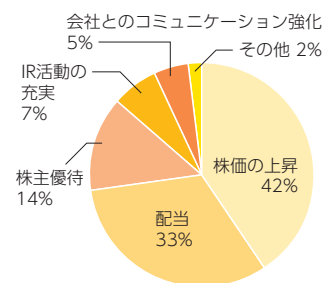
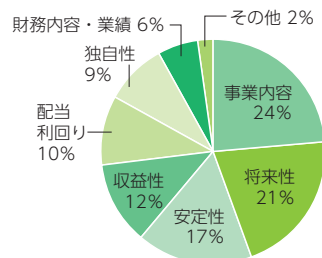
## 株主様アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

第72期中間報告書でご協力をお願いしたアンケートにつきまして、43名の株主様より、ご回答を頂戴しました。お忙しいなかご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

ここにアンケート結果の一部をご紹介しますことができます。

当社では一つ一つのご意見を真摯に受け止め、今後も株主の皆様とよりよいコミュニケーションの実現を目指し、IR活動の参考とさせていただきます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### Q 当社の株式を購入された理由は何ですか？(複数回答)



### Q 当社に最も期待するものは何ですか？

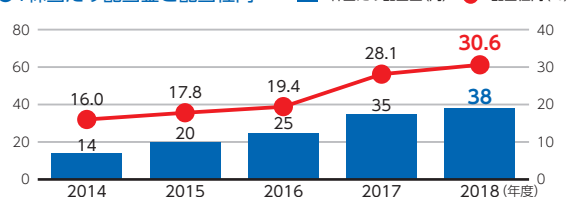
#### 株主様からいただいた応援メッセージ・ご意見 (一部抜粋)

- 順調に業績の拡大が継続しておりこのまま続けて欲しい。自然災害の多い日本にとって必要な企業。
- 国土の安全、安心を実現する会社として信頼度を高めて頂きたい。
- これからも、社会に貢献するとともに安定的な配当を出せるよう努力して下さい。
- 今後も技術革新に努めて下さい。

#### 配当政策について

安定的な配当の維持を基本に、業績と経営環境を勘案して決定する方針としております。

#### ● 1株当たり配当金と配当性向



株主の皆様から頂戴しました貴重なご意見を活かし、更なる企業価値の向上及びIR活動の充実に向け努力してまいります。



ライト工業株式会社

〒102-8236 東京都千代田区九段北四丁目2番35号  
 TEL.03-3265-2550 (ダイヤルイン) FAX.03-3265-0879  
 ホームページ <https://www.raito.co.jp>